

# 肺がん検診を受けましょう

～早期発見、早期治療が重要です～

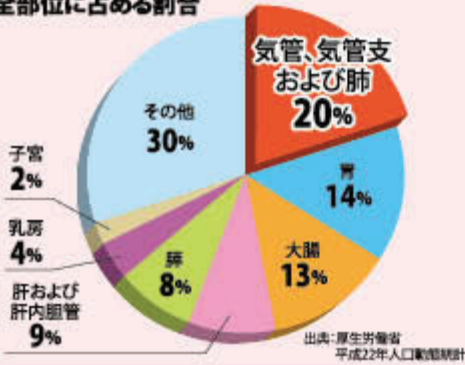
養 奈  
生 良  
訓 くん  
Vol.22

からだを大切にする  
健康長寿情報を発信します。

## 肺がんで死亡する人が増えています!!

がんによる死者数は全国で年間約35万人ですが、その中で肺がんは最も多く全部位のがんの20%を占め、約7万人となっています。

がんの部位別死亡数の全部位に占める割合



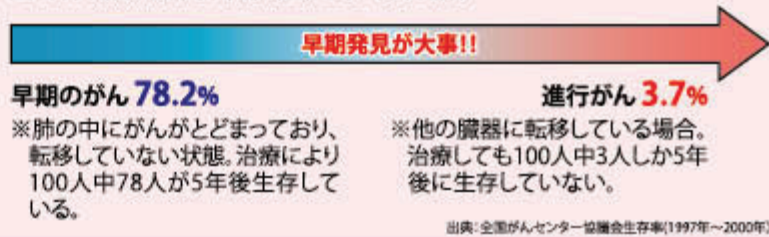
## 肺がんの症状は?



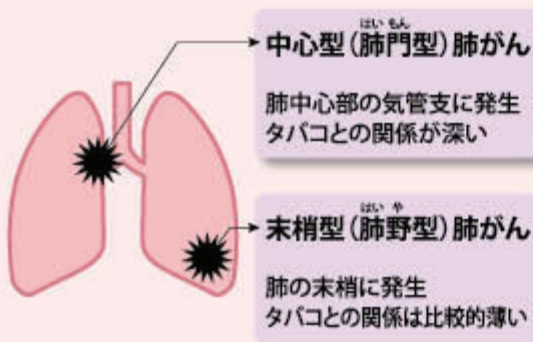
咳や痰がある人もいますが、これらは風邪をひいた時でもみられる症状です。早期の肺がんの場合は、むしろ症状がないことのほうが多いです。

## 肺がんの進行度と5年生存率<sup>注)</sup>

注) がんの治療開始から5年後に、生存している人の割合



## 肺がんの発生部位と肺がん検診 (40歳以上・年に1回)



X線検査  
+  
痰の検査

X線検査

### 痰の検査が必要な人

- 50歳以上で、喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の人。
- 40歳以上の人で6か月以内に血痰のあった人。
- 職業性(アスベストに従事していた人等)

★タバコを吸う人で上記に該当する人は、必ず痰の検査を受けましょう!!



## 肺がんの予防は禁煙から!

タバコを吸うと肺がんにかかる危険性が5～20倍には上がります。また、本人がタバコを吸わなくてもタバコの煙を吸わされることで肺がんになる危険が高くなることが証明されています。



### 夫の喫煙と妻の肺がん死亡率

-妻は非喫煙者の場合-



1日に20本以上のタバコを吸う夫をもつ妻は、本人がタバコを吸わなくても肺がんによる死亡率が通常の約2倍!

### 60歳までに肺がんで死ぬ確率

-吸わない人の何倍か-



タバコを吸い始める年齢が若いほど、肺がんで死ぬ危険性が高い!

タバコは吸う人の健康を害するだけではありません。子どもたちにタバコを吸わせないこと、周囲の人へタバコの煙を吸わせない気配りも必要です。

## 一言アドバイス



独立行政法人 国立病院機構  
奈良医療センター 副院長  
**田村 猛夏**さんに  
お話を伺いました。

肺がん予防は、禁煙が一番です。  
また、早期の肺がんは、症状が出にくく、検診や人間ドック、他の病気で医療機関にかかっている時に見つかることが多くなっています。症状がなくても大丈夫だと思わず、40歳以上の方は年1回の検診を受けましょう。痰の検査が必要な方で、痰がうまく出ない時は、水分を多めに摂り、早朝に痰を取るようにしてください。検診で「異常あり」と指摘されたら、ためらわずに精密検査を必ず受けてください。早期のうちに発見して手術できれば、再発もなく普通に生活できるケースも多くみられます。